

答えのらんをうしろにってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

ち・長さ・時間

かさのわすれもの

なまえ

おんどくサイン

雨が上がった昼休み、げんか
んのかさ立てに、赤いかさが一
本のこっていました。名前は書
いてありません。

わたしは、そのかさをもって
教室を回りました。「これ、だれ
の。」だれも手を上げません。

五時間目のあと、二年二組の
男の子が、かさ立ての前で立っ
ていました。「赤いの、なかっ
た。」と言いました。わたしは、
いそいで教室からもってきまし
た。

男の子は、かsaを見て大きく
うなずきました。「おかあさん
の。」と言って、しっかりむねに
当てました。わたしは、聞いて
よかったと思いました。

(1) 「うなずきました」のいみに合うものを一つ
えらび、記ごとに○をつけましょう。

ア 首をたてにふりました
イ わらいました
ウ はしりました
エ ないました

(2) 赤いかさはだれのものでしたか。一つえらび、
記ごとに○をつけましょう。

ア 男の子のもの
イ 先生のもの
ウ 男の子のおかあさんのもの
エ わたしのもの

(3) 赤いかさがのこっていたばしょはどこですか。
ぶんしょうから四字で書きぬきましょう。

(4) さいごにわたしは、どんなことを
思いましたか。書きましょう。

書くときのポイント

「〜と思った。」でお知らせ。
ぶんしょうのことをそのままつかってよい。

こたえ (うら)

- 問1 ア
問2 ウ
問3 かさ立て
問4 (れい) 聞いてよかったと思った。

〈○のつけ方〉
問1～問3は、答えとおなじなら○。
問4は〈聞いてよかった〉が書いていれ
ば○。

2-09-2-2 v12

2年 物語文